

親切運動の取組について

学校名 富山市立楡原中学校

生徒数 31名

① 楡中挨拶運動

「主体的で活力のある挨拶」の推進のため、毎月2回、朝の登校時間帯に生徒会主催による挨拶運動を行っている。学年や部活動ごとに担当を決め、ボランティア参加の生徒や小学生とともに、登校してくる生徒に元気で爽やかな挨拶を交わすことができた。また、7月、10月にはPTA役員や青少年育成富山市民会議細入支部の委員と一緒に明るい挨拶を交わした。



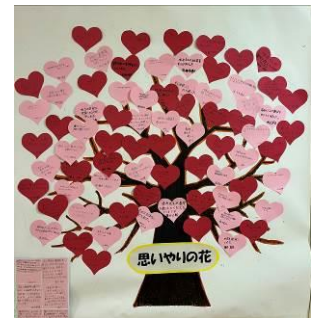
② ハートフル集会（学期振り返り集会）

毎学期、その学期に係活動や部活動、読書、学習等を積極的に行っていた人を学年ごとに決めて表彰したり、学年ごとに学期の振り返りを発表したりする「ハートフル集会」を実施している。一人ひとりの個性を尊重し、お互いのよいところを見つけ、認め合う雰囲気づくりにつながった。



③ 思いやりの花

12月の人権週間に合わせ、学校生活の中で言われて嬉しかった言葉や友達のよい姿、感謝の言葉等を、ハートの形をした用紙に記入し、生徒会執行部が作成した模造紙に貼り付けた。普段伝えることが少ないお互いの思いを共有することで、思いやることの大切さや普段から親切にしようという気持ちを育てていく活動になった。



③ 小中合同ボランティア清掃

生徒会執行部が主体となり、最寄り駅であるJR駅の清掃や小学校のプール清掃を神通碧小学校と合同で行った。中学生は小学生の手本として率先して清掃し、声を掛けながら協力して活動を行うことができた。中学生にとって、先輩として頼られることで、後輩への思いやりの気持ちや活動の充実感、自己有用感を味わうことができる活動となった。



2 親切運動に取り組んで

○取組の成果

生徒会中心の活動や小中連携の活動を通じて、互いのよいところを認め合い、一人ひとりが自分らしく過ごすことができる学校づくりに貢献することができた。また、地域とのつながりも感じることもできた。

○課題と今後に向けて

生徒数の減少を考え、伝統的に受け継がれてきた活動を見直し、よりよいものへ改善していきたい。引き続き、地域との連携やSDGsに関わる取組を積極的に行いたい。また、生徒が自主的に活動に取り組もうとする態度を育てていきたい。